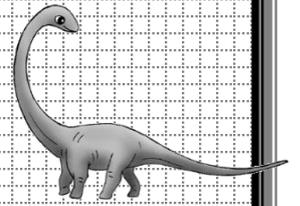


けんぱくものしりシート

ムカシオオホホジロザメ



すごく大きな口！どんな生きものの口かな？



これは大昔のサメのあごと歯の模型よ！
どんなサメだったのか一緒に見てみましょう！



和名：ムカシオオホホジロザメ

学名：*Carcharodon megalodon*
カルカロドン・メガロドン

※絶滅したオトドウス科の一種である、

カルカロクレス・メガロドン (*Carcharocles megalodon*)

とする説もあります。

時代：新生代新第三紀中新世～鮮新世(約2500万年～400万年前)

体長：10～15mほど。20mを超すものもいたと言われている。

見た目：今も生きているホホジロザメに似た

姿をしていたと考えられている。

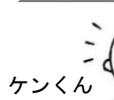
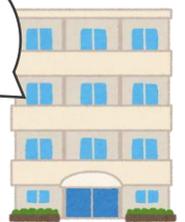
分類：軟骨魚類 (軟骨魚綱)



ホホジロザメ

高さ約
15m

マンション
(4階ぶん)



そんなに大きいんだ！全身の化石も見たいなあ。



私も見てみたい！でもね、サメは身体の骨が「軟骨」でできているの。軟骨は軽くてやわらかいから少しの力ですばやく泳ぐのにはちょうどいいけれど、恐竜や他の多くの魚の骨(硬骨)よりも腐りやすく、化石になりにくいよ。だから全身の骨を見つけるのは大変かもしれないね。

わたしたちの耳や鼻の骨も軟骨でできているよ！



左右にからだをくねらせてすばやく泳げる！

だけど



化石として残りにくい...



やわらかく、くさりやすい身体の骨とは違って、「象牙質」や「エナメロイド」と呼ばれる硬い組織できている「歯」の化石はたくさん見つっています。

ムカシオオホホジロザメの歯



産出場所

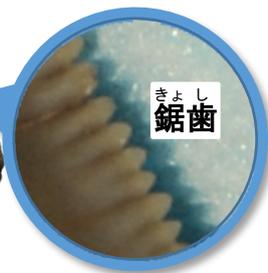
平泉町 小金沢

新生代新第三紀

中期中新世 上黒沢層

▲かたち▼

きれいな三角形をしているよ。
歯のふちには 鋸の歯のようなギザギザがついていて肉を切りさいて食べるのにぴったり！
このような形の歯は「鋸歯」といって肉食恐竜のティラノサウルスなども同じ仕組みの歯を持っているんだよ。



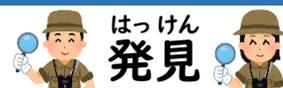
◆おおきさ◆

歯の生えている場所やサメの年齢にもよるけど、4~13 cmくらいだと言われているよ。
歯の化石を見た人が「山にすむ天狗の爪だ！」と思って、お寺や神社の宝物にしたこともあったんだって。ちなみに、ホホジロザメの歯の大きさは約3~7 cmだよ！



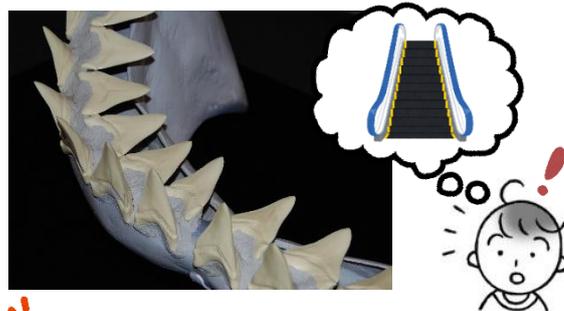
→はか 生え変わり→

人間の歯は一度しか生え変わらないけど、サメの歯は生きているうちに何度も生え変わるんだ。今使っている歯の後ろに、次の歯が順番に並んでいて、歯が欠けたり抜けたりしてもすぐに代わりの歯が前に出てくるんだよ。新しい階段が次々に出てくるエスカレーターみたいだよ。



発見

ムカシオオホホジロザメは世界中の海でくらしていたといわれていて、岩手県でも平泉町や奥州市などで歯の化石が見つっているよ。



展示室の模型を観察してみよう！

参考にした本 『地学ハンドブックシリーズ 27 サメの歯化石のしらべ方』 地学団体研究会 2020年/

『おもしろサメ博』 豊橋市自然史博物館 2011年/ 『よみがえる太古の巨大ザメ』 埼玉県立自然史博物館 1991年 他

来月(2月)の
けんぱくものしりシートは
考古-22だよ！
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>

※「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。最新情報ではございませんので、あらかじめご了承ください。
※「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。